

**【表紙】**

**【提出書類】** 四半期報告書

**【根拠条文】** 金融商品取引法第24条の4の7第1項

**【提出先】** 関東財務局長

**【提出日】** 平成25年11月14日

**【四半期会計期間】** 第68期 第2四半期  
(自平成25年7月1日至平成25年9月30日)

**【会社名】** 株式会社スズケン

**【英訳名】** SUZUKEN CO.,LTD.

**【代表者の役職氏名】** 代表取締役社長 太田 裕史

**【本店の所在の場所】** 名古屋市東区東片端町8番地

**【電話番号】** 052(961)2331(代表)

**【事務連絡者氏名】** 執行役員経理部長 鷲見 守

**【最寄りの連絡場所】** 名古屋市東区東片端町8番地

**【電話番号】** 052(961)2331(代表)

**【事務連絡者氏名】** 執行役員経理部長 鷲見 守

**【縦覧に供する場所】** 株式会社東京証券取引所  
(東京都中央区日本橋兜町2番1号)

株式会社名古屋証券取引所  
(名古屋市中区栄町三丁目8番20号)

証券会員制法人札幌証券取引所  
(札幌市中央区南一条西五丁目14番地の1)

## 第一部 【企業情報】

### 第1 【企業の概況】

#### 1 【主要な経営指標等の推移】

回次		第67期 第2四半期 連結累計期間	第68期 第2四半期 連結累計期間	第67期
会計期間		自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日	自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日	自 平成24年4月1日 至 平成25年3月31日
売上高	(百万円)	919,587	958,485	1,894,594
経常利益	(百万円)	8,129	12,229	27,493
四半期(当期)純利益	(百万円)	1,017	7,919	14,350
四半期包括利益又は包括利益	(百万円)	1,475	7,692	24,637
純資産額	(百万円)	288,919	315,234	309,827
総資産額	(百万円)	946,844	949,187	1,014,242
1株当たり四半期(当期) 純利益	(円)	11.29	87.85	159.19
潜在株式調整後1株当たり 四半期(当期)純利益	(円)			
自己資本比率	(%)	30.5	33.2	30.5
営業活動による キャッシュ・フロー	(百万円)	18,231	54,559	54,006
投資活動による キャッシュ・フロー	(百万円)	6,904	4,774	11,158
財務活動による キャッシュ・フロー	(百万円)	2,558	2,539	5,084
現金及び現金同等物の 四半期末(期末)残高	(百万円)	123,422	90,587	152,449

回次		第67期 第2四半期 連結会計期間	第68期 第2四半期 連結会計期間
会計期間		自 平成24年7月1日 至 平成24年9月30日	自 平成25年7月1日 至 平成25年9月30日
1株当たり四半期純利益 又は1株当たり四半期純損失( )	(円)	6.87	49.58

- (注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。
2. 売上高には、消費税等は含まれておりません。
3. 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

#### 2 【事業の内容】

当第2四半期連結累計期間において、当社及び当社の関係会社が営む事業の内容について、重要な変更はありません。また、主要な関係会社における異動もありません。

## 第2 【事業の状況】

### 1 【事業等のリスク】

当第2四半期連結累計期間において、新たな事業等のリスクの発生、又は、前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについて重要な変更はありません。

### 2 【経営上の重要な契約等】

当第2四半期連結会計期間において、終了することを合意及び締結した契約は次のとおりであります。

#### (1) 業務提携に関する事項

契約会社名	相手方の名称	国名	契約内容	契約年月日
(株)三和化学研究所 (連結子会社)	大日本住友製薬(株)	日本	セイブル錠(ミグリトール)の日本国内における共同販促	平成16年12月7日

#### (2) 技術援助契約

契約会社名	相手方の名称	国名	契約内容	契約年月日
(株)三和化学研究所 (連結子会社)	アラガン社 他	米国	黄斑浮腫治療剤(商品名:ポサデックス)のライセンス契約他	平成17年3月9日

### 3 【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において当社及び連結子会社が判断したものであります。

#### (1) 業績の状況

当第2四半期連結累計期間のわが国経済は、政府による経済政策の効果もあり、大企業を中心とした企業収益の改善や一部個人消費の持ち直しが見られるなど先行きに明るさがみられたものの、燃料価格や原材料価格の上昇による電気料金や生活必需品の値上げなど、先行き不透明な状況で推移いたしました。

医療用医薬品市場は、高齢化の進展に伴う生活習慣病関連薬剤や新薬などの寄与により、緩やかながら伸長したものと推測しております。しかしながら、お得意さまニーズの多様化・高度化への対応など、医薬品卸を取り巻く経営環境は引続き厳しい状況にあります。

当第2四半期連結累計期間の業績につきましては、売上高は9,584億85百万円(前年同期比4.2%増)、営業利益は38億50百万円(前年同期比1,093.1%増)、経常利益は122億29百万円(前年同期比50.4%増)、四半期純利益は79億19百万円(前年同期比678.3%増)となりました。

セグメント別の業績は次のとおりであります。

#### 医薬品卸売事業

「医療用医薬品の流通改善に関する懇談会」による「緊急提言」を受け、引続き流通改善に取り組んでおります。具体的には、お得意さまごとに単品単価取引を原則とし、個々の医療用医薬品の価値に見合った粘り強い価格交渉に努めております。また、多様化・高度化するお得意さまニーズに対応するため、強い物流機能の確立とお得意さまに提供するサービスの最適化に取り組んでおります。

売上高につきましては、個々のお得意さまのニーズにお応えする活動に継続して取り組んだこともあり、市場を上回る伸びを確保することができたものと推測しております。利益につきましては、適正な利益の確保に向けた活動を徹底したことや、販売費及び一般管理費の抑制に努めたことに加え、昨年9月に実施した希望退職者募集の効果もあり、一定の改善を図ることができました。

この結果、売上高は9,124億3百万円（前年同期比4.4%増）、営業利益は11億11百万円（前年同期は26億21百万円の営業損失）となりました。なお、現時点における販売価格の未決定先につきましては、合理的見積価格としております。

#### 医薬品製造事業

売上高につきましては、糖尿病関連商品を中心に販売促進に努めてまいりましたが、簡易自己血糖測定機器類の競争激化の影響や、前年同期に「スイニー錠100mg」の製造販売承認取得に伴うマイルストーン収入を計上していたことなどにより減収となりました。なお、(株)富士薬品と共同開発してまいりました「ウリアデック錠」につきましては、6月に製造販売承認を取得し、9月4日から販売を開始いたしました。

営業利益につきましては、販売費及び一般管理費の抑制に努めたものの、減益となりました。

この結果、売上高は319億41百万円（前年同期比4.6%減）、営業利益は11億43百万円（前年同期比28.4%減）となりました。

#### 保険薬局事業

M & A や新規出店による事業拡大を図るとともに、管理業務の集約化や在庫管理の強化を実施し業務の効率化に努めてまいりましたが、M & A に伴うのれんの一括償却を行ったことなどにより、販売費及び一般管理費は増加いたしました。

この結果、売上高は412億64百万円（前年同期比9.8%増）、営業利益は9億46百万円（前年同期比15.2%減）となりました。

#### 医療関連サービス等事業

主に、介護事業において、グループホームや小規模多機能センターなどで、順調に利用者が増加いたしました。一方、更なる地域密着サービスの強化に向け、施設の新規開設や介護従事者の確保により、売上原価が増加いたしました。

また、医薬品メーカーを対象とした倉庫業を営む(株)コラボワークスにおいて、新規大型案件を受託したことに伴う新物流センターの構築により、売上原価が増加いたしました。

この結果、売上高は136億44百万円（前年同期比12.5%増）、営業利益は82百万円（前年同期比52.8%減）となりました。

## (2) 財政状態の分析

当第2四半期連結会計期間末における資産、負債及び純資産の状況は次のとおりであります。

### (資産)

当第2四半期連結会計期間末における資産合計は、前連結会計年度末に比べ650億55百万円減少し9,491億87百万円となりました。主な要因は以下のとおりであります。

流動資産は前連結会計年度末に比べ646億44百万円減少いたしました。これは主に受取手形及び売掛金が50億6百万円増加したものの、現金及び預金が286億4百万円、有価証券が償還などにより345億2百万円、商品及び製品が72億67百万円減少したことによるものであります。

固定資産は前連結会計年度末に比べ4億11百万円減少いたしました。これは主に投資有価証券の取得などにより投資その他の資産が11億99百万円増加したものの、減価償却などにより無形固定資産が14億95百万円減少したことによるものであります。

### (負債)

当第2四半期連結会計期間末における負債合計は、前連結会計年度末に比べ704億62百万円減少し6,339億52百万円となりました。これは主に前連結会計年度末日が金融機関の休日であったことなどにより支払手形及び買掛金が684億82百万円減少したことによるものであります。

### (純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産合計は、前連結会計年度末に比べ54億6百万円増加し3,152億34百万円となりました。これは主に剰余金の配当を22億53百万円支払ったものの、四半期純利益を79億19百万円計上したことによるものであります。

## (3) キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、前第2四半期連結累計期間に比べ328億34百万円減少し、905億87百万円となりました。当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況は、以下のとおりであります。

### (営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果支出した資金は、545億59百万円(前年同期は182億31百万円の収入)となりました。この主な要因は、税金等調整前四半期純利益129億4百万円、減価償却費58億73百万円及びたな卸資産の減少63億43百万円があったものの、売上債権の増加47億55百万円、仕入債務の減少687億43百万円及び法人税等の支払が56億43百万円があったことによるものであります。

### (投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果支出した資金は、47億74百万円(前年同期比21億30百万円減)となりました。この主な要因は、有価証券の売却及び償還による収入39億円及び投資有価証券の売却及び償還による収入20億4百万円があったものの、有形固定資産の取得による支出30億73百万円、無形固定資産の取得による支出12億89百万円及び投資有価証券の取得による支出54億61百万円があったことによるものであります。

### (財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果支出した資金は、25億39百万円(前年同期比18百万円減)となりました。この主な要因は、配当金の支払22億53百万円があったことによるものであります。

(4) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第2四半期連結累計期間において、事業上及び財務上の対処すべき課題に重要な変更及び新たに生じた課題はありません。

(5) 研究開発活動

当第2四半期連結累計期間における研究開発費の総額は、25億89百万円であります。

また、当第2四半期連結累計期間における研究開発活動の状況の変更内容は、次のとおりであります。

当社の連結子会社である(株)三和化学研究所は、(株)富士薬品と共同開発してまいりました高尿酸血症・痛風治療剤「ウリアデック錠」を平成25年9月4日に新発売いたしました。

また、便秘治療薬「SK-1202」の第 相試験を平成25年7月より開始しております。

### 第3 【提出会社の状況】

#### 1 【株式等の状況】

##### (1) 【株式の総数等】

###### 【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	374,000,000
計	374,000,000

###### 【発行済株式】

種類	第2四半期会計期間 末現在発行数(株) (平成25年9月30日)	提出日現在 発行数(株) (平成25年11月14日)	上場金融商品取引所 名又は登録認可金融 商品取引業協会名	内容
普通株式	93,949,167	93,949,167	東京証券取引所 (市場第一部) 名古屋証券取引所 (市場第一部) 札幌証券取引所	単元株式数は 100株であります。
計	93,949,167	93,949,167		

##### (2) 【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

##### (3) 【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

##### (4) 【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

##### (5) 【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (千株)	発行済株式 総数残高 (千株)	資本金増減額 (百万円)	資本金残高 (百万円)	資本準備金 増減額 (百万円)	資本準備金 残高 (百万円)
平成25年7月1日～ 平成25年9月30日		93,949		13,546		33,836

(6) 【大株主の状況】

氏名又は名称	住所	所有株式数 (千株)	平成25年9月30日現在
			発行済株式総数に対する 所有株式数の割合 (%)
日本トラスティ・サービス信託銀行(株)(三井住友信託銀行再信託分・塩野義製薬(株)退職給付信託口)	東京都中央区晴海一丁目8番11号	5,400	5.74
塩野義製薬(株)	大阪市中央区道修町三丁目1番8号	3,306	3.51
スズケングループ従業員持株会	名古屋市東区東片端町8番地	2,877	3.06
別所弘子	名古屋市昭和区	2,818	2.99
日本トラスティ・サービス信託銀行(株)(信託口)	東京都中央区晴海一丁目8番11号	2,676	2.84
日本マスタートラスト信託銀行(株)(信託口)	東京都港区浜松町二丁目11番3号	2,529	2.69
伊澤久代	名古屋市昭和区	2,196	2.33
エーザイ(株)	東京都文京区小石川四丁目6番10号	1,892	2.01
アステラス製薬(株)	東京都中央区日本橋本町二丁目5番1号	1,756	1.86
別所芳樹	名古屋市昭和区	1,693	1.80
計		27,146	28.89

(注) 上記のほか、当社が所有している株式3,805千株(発行済株式総数に対する所有株式数の割合4.05%)があります。



(7) 【議決権の状況】

【発行済株式】

平成25年9月30日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式			
議決権制限株式(自己株式等)			
議決権制限株式(その他)			
完全議決権株式(自己株式等)	(自己保有株式) 普通株式 3,805,600		単元株式数は100株であります。
完全議決権株式(その他)	普通株式 89,971,900	899,719	同上
単元未満株式	普通株式 171,667		
発行済株式総数	93,949,167		
総株主の議決権		899,719	

(注) 1 「完全議決権株式(その他)」の欄には、証券保管振替機構名義の株式が1,300株及び議決権の数13個が含まれております。また、「単元未満株式」の欄には、同機構名義の株式9株が含まれております。

2 「単元未満株式」には、当社所有の自己株式40株が含まれております。

【自己株式等】

平成25年9月30日現在

所有者の氏名 又は名称	所有者の住所	自己名義 所有株式数 (株)	他人名義 所有株式数 (株)	所有株式数 の合計 (株)	発行済株式 総数に対する 所有株式数 の割合(%)
(株)スズケン	名古屋市東区 東片端町8番地	3,805,600		3,805,600	4.05
計		3,805,600		3,805,600	4.05

2 【役員状況】

該当事項はありません。

## 第4 【経理の状況】

### 1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」(平成19年内閣府令第64号)に基づいて作成しております。

### 2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第2四半期連結会計期間(平成25年7月1日から平成25年9月30日まで)及び第2四半期連結累計期間(平成25年4月1日から平成25年9月30日まで)に係る四半期連結財務諸表について、有限責任監査法人トーマツによる四半期レビューを受けております。

1【四半期連結財務諸表】  
(1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	106,031	77,426
受取手形及び売掛金	434,577	439,584
有価証券	59,302	24,800
商品及び製品	129,908	122,641
仕掛品	3,303	3,925
原材料及び貯蔵品	1,983	2,399
その他	35,774	35,100
貸倒引当金	2,717	2,357
流動資産合計	768,163	703,519
固定資産		
有形固定資産	108,526	108,411
無形固定資産		
のれん	<sup>2</sup> 499	<sup>2</sup> 416
その他	23,159	21,746
無形固定資産合計	23,658	22,163
投資その他の資産	<sup>3</sup> 113,893	<sup>3</sup> 115,093
固定資産合計	246,079	245,667
資産合計	1,014,242	949,187

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	653,812	585,330
短期借入金	437	426
未払法人税等	5,561	4,456
返品調整引当金	414	425
賞与引当金	8,254	8,107
その他	11,824	11,191
流動負債合計	680,305	609,936
固定負債		
長期借入金	370	445
退職給付引当金	3,993	3,883
役員退職慰労引当金	571	645
その他	19,174	19,041
固定負債合計	24,109	24,016
負債合計	704,415	633,952
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	13,546	13,546
資本剰余金	38,897	38,897
利益剰余金	258,224	263,749
自己株式	12,067	12,070
株主資本合計	298,600	304,122
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	17,094	16,529
土地再評価差額金	6,001	5,860
為替換算調整勘定	152	169
その他の包括利益累計額合計	10,941	10,839
少数株主持分	285	272
純資産合計	309,827	315,234
負債純資産合計	1,014,242	949,187

## (2)【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

## 【四半期連結損益計算書】

## 【第2四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
売上高	919,587	958,485
売上原価	837,792	872,016
売上総利益	81,795	86,469
返品調整引当金戻入額	431	414
返品調整引当金繰入額	384	425
差引売上総利益	81,843	86,458
販売費及び一般管理費	81,520	82,607
営業利益	322	3,850
営業外収益		
受取利息	355	381
受取配当金	612	675
仕入割引	3,728	3,948
受入情報収入	2,429	2,539
その他	875	1,049
営業外収益合計	8,003	8,593
営業外費用		
支払利息	12	11
不動産賃貸費用	130	102
消費税調整額	-	54
その他	53	46
営業外費用合計	196	214
経常利益	8,129	12,229
特別利益		
固定資産売却益	3	14
投資有価証券償還益	-	755
保険解約返戻金	-	207
補助金収入	13	204
その他	21	9
特別利益合計	39	1,190
特別損失		
固定資産除売却損	194	263
減損損失	24	62
固定資産圧縮損	5	157
特別退職金	4,978	-
その他	126	32
特別損失合計	5,329	515
税金等調整前四半期純利益	2,838	12,904
法人税等	1,813	4,966
少数株主損益調整前四半期純利益	1,025	7,937
少数株主利益	7	18
四半期純利益	1,017	7,919

【四半期連結包括利益計算書】  
【第2四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	1,025	7,937
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	798	565
為替換算調整勘定	2	15
持分法適用会社に対する持分相当額	350	303
その他の包括利益合計	450	245
四半期包括利益	1,475	7,692
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,467	7,676
少数株主に係る四半期包括利益	8	15

(3)【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	2,838	12,904
減価償却費	5,947	5,873
減損損失	24	62
貸倒引当金の増減額(は減少)	334	384
退職給付引当金の増減額(は減少)	431	399
その他の引当金の増減額(は減少)	587	201
受取利息及び受取配当金	968	1,056
支払利息	12	11
固定資産除売却損益(は益)	190	249
固定資産圧縮損	5	157
投資有価証券償還損益(は益)	-	755
特別退職金	4,978	-
売上債権の増減額(は増加)	24,382	4,755
たな卸資産の増減額(は増加)	6,165	6,343
仕入債務の増減額(は減少)	24,806	68,743
その他	4,387	204
小計	22,667	50,097
利息及び配当金の受取額	1,193	1,196
利息の支払額	12	11
特別退職金の支払額	146	4
法人税等の支払額	6,033	5,643
法人税等の還付額	562	-
営業活動によるキャッシュ・フロー	18,231	54,559

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	3,258	4,750
定期預金の払戻による収入	2,551	4,675
有価証券の売却及び償還による収入	2,400	3,900
有形固定資産の取得による支出	5,049	3,073
有形固定資産の売却による収入	81	501
無形固定資産の取得による支出	1,327	1,289
投資有価証券の取得による支出	2,453	5,461
投資有価証券の売却及び償還による収入	25	2,004
子会社株式の取得による支出	11	0
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	17	766
その他	153	512
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>6,904</b>	<b>4,774</b>
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額（は減少）	-	30
長期借入金の返済による支出	135	18
リース債務の返済による支出	143	222
割賦債務の返済による支出	24	10
自己株式の取得による支出	1	3
自己株式の売却による収入	0	-
配当金の支払額	2,253	2,253
少数株主への配当金の支払額	0	0
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>2,558</b>	<b>2,539</b>
現金及び現金同等物に係る換算差額	5	12
現金及び現金同等物の増減額（は減少）	8,762	61,861
現金及び現金同等物の期首残高	114,659	152,449
現金及び現金同等物の四半期末残高	123,422	90,587



## 【注記事項】

(四半期連結貸借対照表関係)

## 1 偶発債務

次の債務保証を行っております。

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
取引先(金融機関借入債務)	23百万円	22百万円

## 2 のれん及び負ののれんの表示

のれん及び負ののれんは相殺し、無形固定資産の「のれん」として表示しております。相殺前の金額は、次のとおりであります。

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
のれん	1,043百万円	805百万円
負ののれん	543	388
差引	499	416

## 3 資産の金額から直接控除している貸倒引当金の額

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
投資その他の資産	889百万円	868百万円

(四半期連結損益計算書関係)

販売費及び一般管理費のうち、主要な費目及び金額は次のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
給料及び手当	31,566百万円	30,808百万円
賞与引当金繰入額	6,532	7,362
退職給付費用	2,037	1,900

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係は、次のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
現金及び預金勘定	110,848百万円	77,426百万円
預入期間が3か月を超える定期預金	5,437	6,837
有価証券勘定のうち 公社債投資信託等	18,011	19,999
現金及び現金同等物	123,422	90,587

(株主資本等関係)

前第2四半期連結累計期間(自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)

1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (百万円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成24年5月9日 取締役会	普通株式	2,253	25.00	平成24年3月31日	平成24年6月6日	利益剰余金

2. 基準日が当第2四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第2四半期連結会計期間の末日後となるもの

決議	株式の種類	配当金の総額 (百万円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成24年11月6日 取締役会	普通株式	2,253	25.00	平成24年9月30日	平成24年12月10日	利益剰余金

当第2四半期連結累計期間(自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)

1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (百万円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成25年5月9日 取締役会	普通株式	2,253	25.00	平成25年3月31日	平成25年6月5日	利益剰余金

2. 基準日が当第2四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第2四半期連結会計期間の末日後となるもの

決議	株式の種類	配当金の総額 (百万円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成25年11月5日 取締役会	普通株式	2,253	25.00	平成25年9月30日	平成25年12月10日	利益剰余金

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				合計
	医薬品 卸売事業	医薬品 製造事業	保険薬局 事業	医療関連 サービス等 事業	
売上高					
外部顧客への売上高	859,855	12,844	37,578	9,309	919,587
セグメント間の内部売上高 又は振替高	13,923	20,626	1	2,820	37,371
計	873,779	33,470	37,579	12,129	956,959
セグメント利益又は損失( )	2,621	1,597	1,116	175	267

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：百万円)

利益	金額
報告セグメント計	267
セグメント間取引消去	54
四半期連結損益計算書の営業利益	322

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

当第2四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				合計
	医薬品 卸売事業	医薬品 製造事業	保険薬局 事業	医療関連 サービス等 事業	
売上高					
外部顧客への売上高	895,344	11,552	41,260	10,327	958,485
セグメント間の内部売上高 又は振替高	17,059	20,388	3	3,316	40,767
計	912,403	31,941	41,264	13,644	999,253
セグメント利益	1,111	1,143	946	82	3,283

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	3,283
セグメント間取引消去	566
四半期連結損益計算書の営業利益	3,850

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
1株当たり四半期純利益	11円29銭	87円85銭
(算定上の基礎)		
四半期純利益(百万円)	1,017	7,919
普通株主に帰属しない金額(百万円)		
普通株式に係る四半期純利益(百万円)	1,017	7,919
普通株式の期中平均株式数(千株)	90,145	90,143

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2【その他】

平成25年11月5日開催の取締役会において、次のとおり剰余金の配当を行うことを決議いたしました。

配当金の総額..... 2,253百万円

1株当たりの金額.....25円00銭

支払請求権の効力発生日及び支払開始日.....平成25年12月10日

(注) 平成25年9月30日現在の株主名簿に記載又は記録された株主に対し支払を行います。

## 第二部 【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

## 独立監査人の四半期レビュー報告書

平成25年11月8日

株式会社スズケン  
取締役会 御中

有限責任監査法人 トーマツ

指定有限責任社員 業務執行社員	公認会計士	平	野	善	得
--------------------	-------	---	---	---	---

指定有限責任社員 業務執行社員	公認会計士	服	部	一	利
--------------------	-------	---	---	---	---

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている株式会社スズケンの平成25年4月1日から平成26年3月31日までの連結会計年度の第2四半期連結会計期間（平成25年7月1日から平成25年9月30日まで）及び第2四半期連結累計期間（平成25年4月1日から平成25年9月30日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書、四半期連結キャッシュ・フロー計算書及び注記について四半期レビューを行った。

### 四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

### 監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

## 監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、株式会社スズケン及び連結子会社の平成25年9月30日現在の財政状態並びに同日をもって終了する第2四半期連結累計期間の経営成績及びキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

## 利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

- 
- (注) 1. 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社(四半期報告書提出会社)が別途保管しております。
2. 四半期連結財務諸表の範囲にはX B R L データ自体は含まれていません。